

5 アウティ

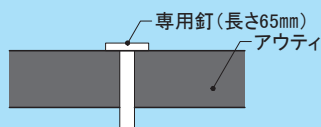
5-1 施工のポイント

- 不陸が3mm以上ある場合は、アウティ施工前に下地調整を行ってください。
- 切断には、オールダイヤモンドチップソー(FX80A、FX100A、FX125A)を使用してください。
- ドリルで先孔(φ2.8~3.5mm程度)をあけてから留め付けてください。
(鉄骨下地の場合は、ステンレスリーマテクスネジで留め付けるため、先孔は不要です。)

注意 先孔は、アウティ本体のみ、またはその下のモエンまでとしてください。
下地(木胴縁や躯体)まであけてしまうと、釘やビスの固定力が不足するおそれがあります。

- アウティ専用釘は、必ず胴縁、補助胴縁に留め付けてください。

注意 釘頭は、製品表面より沈めないでください。
割れ・欠けが発生するおそれがあります。



- 留付位置が「NICHIIHA内外装建材総合カタログ」に表示されているものは、表示位置に留め付けてください。
表示されていないものは、幅方向2本留めとし、端部距離は30~50mmとしてください。

<留付間隔>

木下地の場合: 500mm以下 鉄骨下地の場合: 610mm以下

- 押出し幕板を、寒冷地域(福島県・宮城県および岩手県の一部を除く)で使用する場合には、上端に水切または見切縁を施工してください。
- 押出し飾縁は、寒冷地域(福島県・宮城県および岩手県の一部を除く)では開口部に使用できません。
- 接合部は10mm程度の隙間を設け、専用バックアップ材を使用してください。小口面にプライマーを塗布し乾燥後、プライマーを再度塗布してニチハシーリングを充填してください。
- あらわしとなる切断面の処理
 - ・見え掛かりは、モエンシーラーを塗布・乾燥後、アウティペンを塗布してください。
 - ・見え掛かり以外はモエンシーラーを塗布・乾燥後、モエンシーラーを再塗布してください。

※基材着色したGLシリーズは切断面が目立ちませんが、処理が必要です。

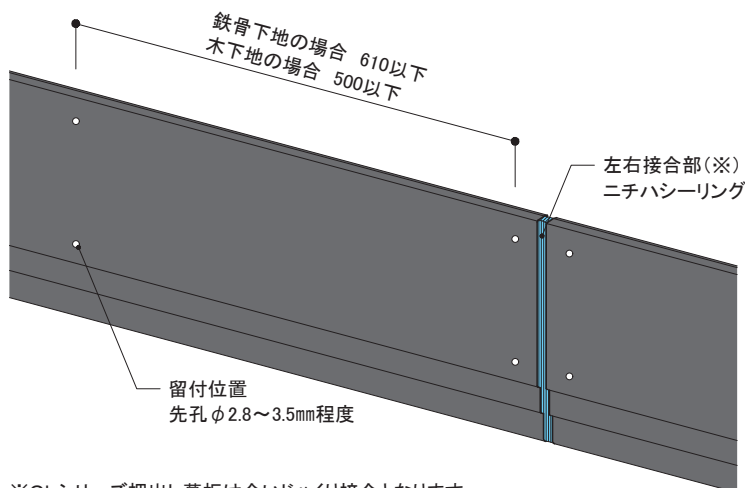
- 補修には、補修用パテ、アウティペンを使用してください。

※補修面積は極力最小範囲とし、補修部分に補修液の砂の凹凸が残る程度に薄く塗布してください。

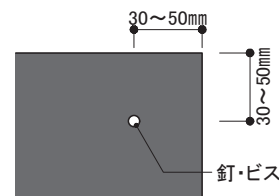
- GLシリーズはアウティペンセットに同梱されている専用砂を攪拌済みの主剤に全量添加し、砂と塗料が均一に混ざるまで攪拌棒で十分に攪拌し、同梱の刷毛で攪拌しながら補修してください。

※主剤のみであったり、砂添加時の攪拌が不十分な場合には、色違いや色ムラ、塗膜性能の低下が起こるおそれがあります。

- 無塗装品(シーラー品)は施工後2カ月以内に弊社が推奨する塗料メーカーの仕様に従って塗装してください。
- アウティは、外装部材として設計されています。設計施工上の禁止事項を守り使用してください。
- モルタル壁への埋め込み施工には使用できません。



※GLシリーズ押出し幕板は合いじゃくり接合となります。



禁止 釘頭より広く塗り拡げられたり、厚く塗布しないでください。

